

9. 教科
【国語科】

教科目標

- ① 国語に対する関心を深め、「話す」力、「聞く」力、「書く」力、「読む」力を総合的に養えるように努める。
- ② 感性に働きかける授業をめざし、適切に表現する能力(その基礎としての語彙力を含む)を高める。
- ③ 主体的・対話的学習に生徒たちが取り組めるようにグループワーク(4人班)を用いた授業を工夫する。

本年度の重点目標(学年別)

- 第1学年:「話す」「聞く」「書く」「読む」学習を通して、基礎的な学力を身につけさせる。
 第2学年:「話す」「聞く」「書く」「読む」学習を通して、日常生活における実践的な表現力を身につけさせる。
 第3学年:「話す」「聞く」「書く」「読む」学習を通して、目的や場面に応じた表現力を高める。

《本年度の重点目標》

- ① 4人班を用いて意味調べや本文の読み合わせをおこない、協同的学習をより深めていく授業展開をおこなう。
- ② 生徒の実態に合わせて教材の吟味、副教材(ワーク・問題集・便覧等)の活用。
- ③ 基礎的国語力向上のため、必要に応じて漢字練習、小テスト、課題等を工夫し、その定着を図る。
- ④ 「聞く」力を身につけさせるため放送による「聞き取りテスト」を実施。また4人班にてお互いが書いた作文の読み合わせに取り組み、その内容を聞きあうことで「聞く」力の定着を図る。
- ⑤ 短作文(200字・300字)を書かせる機会を持つ。身近な題材(テーマ)を元に書かせ、これによって「書く」力の定着、向上を図る。
- ⑥ セタ書写、創作俳句・短歌短冊、古典名文の視写を通して「書写」の力の向上を図る。年賀状も書写として全学年で取り組む。
- ⑦ 「漢字一字作文」(1年)、「人権作文」(2年)、「お茶俳句大賞」(3年)に応募する。
組む。
- ⑧ 古文の暗唱、百人一首を通して伝統的文化への理解を深める。百人一首大会を実施する。
- ⑨ 授業において「めあて」の提示、「ふりかえり」の実施。
- ⑩ 主体的にできる家庭学習(宿題)の内容やその方法、あり方の検討、実施。
- ⑪ 読書習慣の定着を図る取り組みと図書館の活用。
- ⑫ 生徒の意欲を喚起できる教材の選定。

年間カリキュラム(学年別・月別) A:話す、聞く B:書く C:読む D:言語文化、国語の特質(言語事項)

	第1学年		第2学年		第3学年	
4月	朝のリレー	C 3	名づけられた葉	C 2	岩が	C 2
	竜	C 4	セミロングホームルーム	C 4	握手	C 3
	グループディスカッション課題や疑問にそって話し合う	A 4	敬語の意味と種類	D 2	辞書の語釈	D 1
5月	ペンギンの防寒着	C 1	グループディスカッション	D 4	漢字を身につけよう1・2	D 2
	クジラの飲み水	C 4	漢字を身につけよう1・2	D 2	グループディスカッション	A 4
	漢字のしくみ1 活字と手書き文字・画数・筆順	D 2	じゃけんは、なせがー、チョコ、パーの三種類なのか	C 1	漢字を身につけよう3・4	D 2
6月	調べたことを整理して、わかりやすくレポート	B 1	人間は他の星に住むことができるのか	C 4	批判的な読み	C 1
	文法のまど1ことばの単位・文節の関係	D 6	手紙メール・言葉のはたらきとコミュニケーション	A 5	間の文化	C 3
	空中ブランコ乗りのキキ	C 7	短歌の世界・短歌十首・音の教え方と句切れ	D 3	課題作文	B 4
7月	言葉発見1 音声のしくみとはたらき	D 1	短歌俳句 工夫して豊かに表す	B 5	漢字のしくみ 四字熟語	D 1
	言葉発見2 話し言葉と書き言葉	D 2	文法の窓1 用言の活用	D 3	漢字を身につけよう5・6	D 2
	字のない葉書	C 4	壁に残された伝言・私の読書体験	C 3	俳句の世界	C 3
8月	漢字を身につけよう1.2	D 1	漢字を身につけよう3・4	D 2	批評分	B 5
	随筆 体験に向き合い意味づける	C 4	一〇〇年後の水を守る	C 4	和語・漢語・外来語	D 1
	漢字のしくみ2 部首と成り立ち	D 2	上位語・下位語	D 1	希望	C 2
9月	玄関扉	C 6	プレゼンテーション	A 5	谷間の君へ	C 2
	言葉発見3 接続する語句・指示する語	D 1	漢字を身につけよう5.6	D 2	フロン規制の物語	C 4
	月を思う心	C 1	枕草子・徒然草	C 4	慣用句・ことわざ・故事成語	D 1
10月	竹取物語	C 6	表現プラザ	B 2	パブリックスピーキング	A 4
	故事成語 矛盾	C 4	平家物語	C 5	漢字を身につけよう7・8	D 2
	漢字を身につけよう3.4	D 1	漢詩の世界	C 3	和歌の世界	C 4
11月	スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える	A 5	文法のまど2 助詞・助動詞	D 3	おくのほそ道	C 3
	漢字のしくみ3 漢字の音と訓	D 2	漢字の仕組み1・2	D 2	言葉の現在・過去・未来	D 1
	文法の窓2 単語の類別・品詞	D 4	情報を関連付けて情報をまとめる	B 5	論語	C 2
12月	防災に関するデータ	B 1	投稿文・論説文	B 6	漢字一字で表現すると	B 2
	「みんなであるから大丈夫」の怖さ	C 2	漢字を身につけよう7・8・9	D 2	情報社会を生きる・広告の読み比べ	C 7
	それだけでいい	C 2	大阿蘇	C 2	ポスター	B 4
1月	言葉発見4 比喩・倒置・反復・対句	D 1	類義語・対義語・多義語	D 2	文法のまとめ	D 2
	少年の日の思い出	C 6	小さな手袋	C 4	初恋	C 2
	言葉発見5 方言と共通語	D 2	ピブリオバトル	A 5	相手や場に配慮した言葉遣い	D 1
2月	行年案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える	A 6	創作文	B 5	故郷	C 5
	意味と意図ーコミュニケーションを考える	C 5	動物園でできること	C 4	フットワーク	A 2
	意見文 根拠を明確にして考えを述べる	B 5	走れメロス	C 5	「文殊の知恵」の時代	C 2
3月	トロッコ	C 5	情報誌	B 7	坊ちゃん	C 3
	漢字を身につけよう5・6・7・8	D 2	歌の言葉	B 2	中学生生活を振り返って	A, B 6
	一年間の自分とクラスを振り返って グループ仲間	A 7				
4~5月	書写(ひらがな)硬筆	B 2	書写(行書)硬筆	B 2	書写(詩)硬筆	B 3
5~6月	書写(大志)	B 3	書写(桜色)	B 3	書写(書き手の意図と表現)	B 3
6~7月	書写(夏山の)	B 3	書写(若緑)	B 3	書写(思いを文字で表そう)	B 2
8~10月	書写(日光)	B 3	書写(草山に)	B 3	書写(新年のことば)	B 2
10~11月	書写(行書の基本)	B 3	書写(豊かな自然)	B 3		
11~12月	書写(大空)	B 3	書写(場面と目的)	B 3		
1~3月	書写(新年のことば)	B 3	書写(新年のことば)	D 3	0	
合計時数		140		140		105

※生徒の国語的な見方・考え方を同一視点で捉えるため、1学年につき国語科教員2名で配置しており、生きて働く国語の力を丁寧に育てる。

【社会科】

教科目標

- ・ 世界の人々の生活や歴史・政治・経済を学ぶことによって社会に対する科学的な認識を深める。
- ・ よりよい社会を創造する主体を作る授業をめざす。
- ・ 生徒の学習意欲を引きだす。

本年度の重点目標

- ・ 基礎知識の徹底
- ・ 家庭学習の定着をはかる
- ・ 発表する力・考える力をつける
- ・ 教材の工夫・交流
- ・ 評価規準の統一

年間カリキュラム(学年別・月別)

		地・・・地理分野		歴・・・歴史分野		公・・・公民分野			
第1学年		第2学年		第3学年					
4月	地	第1編 世界と日本の姿		地	第3編 日本のさまざまな地域		歴	第6章 二度の世界大戦と日本	14
		第1章 世界の姿	3		第2章 日本の地域的特色と地域区分	5			
			5						
5月	地	第2章 日本の姿		地	第3章 日本の諸地域	10	歴	第6章 二度の世界大戦と日本	14
	歴	第1章 歴史のとびら	8						
	歴	第1章 古代までの日本	2						
6月	歴	第1章 古代までの日本	12	地	第3章 日本の諸地域	12	歴	第7章 現代の日本と世界	12
	地	第2編 世界のさまざまな地域					公	第1章 私たちの暮らしと現代社会	3
		第1章 世界各地の人々の生活と環境							
7月	地	第1章 世界各地の人々の生活と環境	10	地	第3章 日本の諸地域	10	公	第1章 私たちの暮らしと現代社会	11
		第2章 世界の諸地域							
8・9月	地	第2章 世界の諸地域	10	地	第3章 日本の諸地域	10	公	第1章 私たちの暮らしと現代社会	12
							公	第2章 人間を尊重する日本国憲法	6
10月	地	第2章 世界の諸地域	7	地	第3章 日本の諸地域	3	公	第2章 人間を尊重する日本国憲法	16
	歴	第2章 古代までの日本	3	地	第4章 地域の在り方	5			
				歴	第4章 近世の日本と世界	2			
11月	歴	第3章 中世の日本	2	歴	第4章 近世の日本と世界	13	公	第3章 私たちの暮らしと民主政治	16
			10						
12月	歴	第3章 中世の日本	9	歴	第4章 近世の日本と世界	6	公	第3章 私たちの暮らしと民主政治	4
				歴	第5章 開国と近代日本の歩み	4	公	第4章 私たちの暮らしと経済	5
1月	歴	第4章 近世の日本	10	歴	第5章 開国と近代日本の歩み	10	公	第5章 安心して暮らせる社会	10
2月	歴	第4章 近世の日本	6	歴	第5章 開国と近代日本の歩み	9	公	第6章 国際社会に生きる私たち	9
	地	第2章 世界の諸地域	3					国旗と国歌について	
3月	地	第3編 日本のさまざまな地域	5	歴	第6章 二度の世界大戦と日本	6	公	第6章 国際社会に生きる私たち	4
							公	終章 私たちができること	4
合計		105		105			140		
		地理分野	60	地理分野	55		歴史分野	40	
		歴史分野	45	歴史分野	50		公民分野	100	

【数学科】

教科目標

- ・ 数学的活動を通して、数量や図形に関する原理・法則について理解を深める。
- ・ 班学習を通して、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感させるとともに、表現力を高める。
- ・ 2年生では少人数制を導入することにより、基礎的な計算力の定着をはかる。

本年度の重点目標(学年別)

第1学年:数の概念についての理解を深め、文字式や方程式を確実に処理できるようにする。

図形に対する考え方を深め、理論的に考察させる。

変化や対応についての考え方を深め、表現する力を伸ばす。

目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。

第2学年:基本的な計算、文字式、方程式、関数、図形、確率についての理解を深めるとともに、

それらを用いる能力を伸ばし、考察する力を養う。

第3学年:数の概念についての理解をいっそう深める。図形について論理的に考察する能力を伸ばす。

関数関係を活用し、表現する能力を伸ばす。

年間カリキュラム(学年別・月別)

	第1学年		第2学年		第3学年	
4月	正の数・負の数	26	式の計算	15	式の展開と因数分解	20
5月						
6月	文字の式	24	連立方程式	14	平方根	18
7月						
8・9月			方程式	20		
10月	変化と対応	24	図形の調べ方	16	関数 $y=ax^2$	14
11月					図形と相似	23
12月	平面図形	16	図形の性質と証明	20	円の性質	15
1月	空間図形	18			場合の数と確率	10
2月			データの活用	10	箱ひげ図とデータの比較	5
3月	1年間のまとめ	2	1年間のまとめ	5	3年間の総復習	12
合計時数		140	合計	105		

【理科】

教科目標

- ・「見る」「聞く」「触れる」「におう」を通して生徒の感性に働きかけ、科学的思考を高める授業をめざす。
- ・モチベーションを高めるために実験や観察を多く取り入れる。
- ・ICT機器を有効に活用する。
- ・生物やそれを取り巻く環境を知り、生命の尊さや自然の大切さを学ばせる。
- ・基礎的な語句を定着させ、正しく活用する力を養う。

本年度の重点目標(学年別)

第1学年:身近な事象(物質、エネルギー、生命、地球)を通して、観察・実験方法の習得、反復学習を通して基礎知識の理解など探求する態度の基礎をつくる。

第2学年:第1学年時を基に、実験・観察を通して自然を科学的に調べる能力を育成し、基本的な概念を形成する。

第3学年:2年間の学習を基に、各分野間を関連して理解し、科学的な見方、考え方を養うとともに、自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりする力を養う。

年間カリキュラム(学年別・月別)

月	第1学年		第2学年				第3学年													
4	自然の中に生命の営みを見つけてみよう	5	化学変化と原子・分子	30	地球の大気と天気の変化	19	化学変化とイオン	27	生命の連続性	20										
5	植物のくらしとなかま	22									動物の生活と生物の進化	40	演習	7	宇宙の中の地球	20	運動とエネルギー	37		
6			身まわりの物質	26	電流の性質とその利用とその利用	35	地球の大気と天気の変化	9	自然と人間	23									演習	13
7																				
9	10	11	12	1	2	3	合計時数	79	26	105	35	70	70							
10														11	12	1	2	3	合計時数	79
11	12	1	2	3	合計時数	79	26	105	35	70	70									
12												1	2	3	合計時数	79	26	105	35	70
1	2	3	合計時数	79	26	105	35	70	70											
2										3	合計時数	79	26	105	35	70	70			
3	合計時数	79	26	105	35	70	70													
合計時数								79	26	105	35	70	70							

【音楽科】

教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成をすることをめざす。

本年度の重点目標(学年別)

第1学年

：曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、合唱、器楽の技能を身に付けるようにする。

音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

第2学年及び第3学年

：曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。

曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

※生徒の音楽的な見方・考え方を同一視点で捉え、音楽に向かう態度を丁寧に育てる。実技・演奏練習で偏りなく、音楽性や技を身に付けるようにする。

年間カリキュラム(学年別・月別)

	第1学年		第2学年		第3学年	
4月	思いをこめて合唱しよう	3	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	2	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	3
5月	曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	2	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	2	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	5
	曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう	2	音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう	2		
6月	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	2	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	2	曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう	5
7月	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	4	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	2		
8月	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	4	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	3	全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう	3
9月	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	4	曲想と音楽の構造との関わりを理解して歌唱表現を工夫し、生活や社会の中の音楽の意味や役割について考えよう	5		
10月	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	2	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	3	音楽の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	3
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	3			日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	4
11月	日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	5	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	2	我が国の伝統的な歌唱、和楽器の音色や響きを生かして、表現を工夫しよう	3
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	3	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう	3		
12月	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう	3	日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	3	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	2
1月	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	5	世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	2	曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう	2
					世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	2
2月	曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫しよう	6	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	2
3月	国歌「君が代」	1	国歌「君が代」	1	国歌「君が代」	1
合計時数		45		35		35

【美術科】

教科目標

- ・ 授業に対する基本姿勢を徹底させ、意欲的・自主的に授業に取り組む。
- ・ 創造する喜びを味わわせる。
- ・ 美的環境をつくり、鑑賞する力を養う。

本年度の重点目標(学年別)

- 第1学年: 絵の具、用具の使い方をマスターさせる。
- 第2学年: 色や形的美しさを発見させる。
- 第3学年: 1・2年で身につけた創造性、技術をさらに高める。

年間カリキュラム(学年別・月別)

	第1学年		第2学年		第3学年	
4月	デッサン	3	オリエンテーション	1	パッケージのデザイン	11
5月	色の整理	4	モダンテクニック	6		
6月	自分の名前	10	遠近法	3		
7月			自画像	2	西洋美術史	1
9月	日本の像	4	日本美術史	2	西洋美術史2	2
10月	絵文字	8	美しい鍋敷き	11	点描の風景	6
11月	百人一首の切り絵	2				
12月						
1月	粘土のキャラクター	14	スクラッチライト	6	篆刻	15
2月			和菓子作り	4		
3月						
合計時数		45		35		35

【保健体育科】

教科目標

- ・ 健康安全面に気をつけ、生涯にわたって運動することを楽しむことのできる生徒を育てる。
- ・ 基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・ 互いに協力し、自主的な活動ができる集団を育成する。

本年度の重点目標(学年別)

- 第1学年: 服装面を含め、規律・秩序ある行動ができるようにする。
- 第2学年: 体力を高め、安全に行動できる力を身につけさせる。
- 第3学年: 運動の楽しさを味わい、主体的に活動できるようにする。

年間カリキュラム(学年別・月別)

	第1学年(A)		第1学年(B)		第2学年(A)		第2学年(B)		第3学年(A)		第3学年(B)	
4月	体づくり運動	7	体づくり運動	7	体づくり運動	7	体づくり運動	7	体づくり運動	7	体づくり運動	7
	新体力テスト	4	新体力テスト	4	新体力テスト	3	新体力テスト	3	新体力テスト	3	新体力テスト	3
5月	陸上競技 (ハードル走)	8	バレーボール	8	陸上競技 (走り幅跳び)	8	バレーボール	8	バレーボール	9	陸上競技 (走り高跳び)	8
6月	バレーボール	8	陸上競技 (ハードル走)	8	バレーボール	8	陸上競技 (走り幅跳び)	8	陸上競技 (走り高跳び)	8	バレーボール	9
7月	水泳 (クロール・平泳ぎ)	10	水泳 (クロール・平泳ぎ)	10	水泳 (クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)	10	水泳 (クロール・平泳ぎ・背泳ぎ)	10	水泳 (クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ)	10	水泳 (クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ)	10
8月												
9月	バスケットボール	8	剣道	8	バスケットボール	8	剣道	8	バスケットボール	9	器械運動 (マット運動)	8
10月	剣道	8	バスケットボール	8	剣道	8	バスケットボール	8	器械運動 (マット運動)	8	バスケットボール	9
11月	器械運動 (マット運動)	8	持久走	10	器械運動 (跳び箱運動)	8	持久走	10	持久走	10	持久走	10
12月	持久走	10	器械運動 (マット運動)	8	持久走	10	器械運動 (跳び箱運動)	8	ソフトボール	8	ダンス	9
1月												
2月	ソフトボール	8	ダンス	8	ソフトボール	8	ダンス	8	ダンス	9	ソフトボール	8
3月	ダンス	7	ソフトボール	7	ダンス	8	ソフトボール	8	スポーツレク	5	スポーツレク	5
合計時数		105		105		105		105		105		105

【技術・家庭科】
教科目標

- ・ 実生活に結びつく学習の中から科学的なものの見方、考え方を育てる。
- ・ 実践的・体験的な活動を通して、基本的な技能を身につける。
- ・ 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、それを解決する力の育てる。

本年度の重点目標(学年別)

- 第1学年：生徒に意欲を持たせ、基礎基本の技術を身につけさせる。
 第2学年：学んだ知識や技術を活用し、家庭・社会生活に役立てる。
 第3学年：豊かな人間性と問題解決の能力を養う。

年間カリキュラム(学年別・月別)

	第1学年				第2学年				第3学年													
	技術科		家庭科		技術科		家庭科		技術科		家庭科											
	技術科 ガイダンス	1	家庭科 ガイダンス	1																		
4月	1-1 材料の加工の技術の原理・原則と仕組み	12	5-1 家族・家庭と地域	3	3-1 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	12	3-1 住まいの役割と安全な住まい方	7	4-1 情報の技術の原理・法則と仕組み	7.5	4-1 私たちの消費生活	4										
5月																						
6月			2-1 衣服の選択と手入れ	10																		
7月														1-1 食事の役割と中学生の栄養の特徴	4					4-2 消費者としてできること	2	
8・9月			1-2 材料と加工の技術による問題解決	15									2-2 生活を豊かにするために	10	生物育成にかかわる技術(栽培実習)	8	1-2 中学生に必要な栄養を満たす食事	3	情報に関する技術(プログラミングによる計測・制御)	10	5-2 幼児の生活と家族	9
10月																	1-3 調理のための食品の選択と購入	4				
11月																	3-2 エネルギーの変換の技術による問題解決	9				
12月					3-3 社会の発展とエネルギー変	2	1-4 調理実習	3														
1月					3-1 住まいの役割と安全な住まい方	8	4-1 情報の技術の原理・法則と仕組み(栽培実習)	4	4-1 私たちの消費生活	7												
2月	1-3 社会の発展と加工と技術	7	1-1 食事の役割と中学生の栄養の特徴	3							5-3 これからの家族と地域	2.5										
3月																						
合計時数	35		35		35		35		17.5		17.5											

【英語科】

教科目標

- ・モチベーションを高め、基礎学力の充実を図る。
- ・2年生、3年生において、少人数制を導入することにより、英語力の向上をめざす。
- ・NET (Native English Teacher) を活用して、コミュニケーションを図る力を養う。
- ・国際理解を深める。
- ・自己表現能力の向上をめざす。

本年度の重点目標(学年別)

- 第1学年:音読や暗唱、小テスト等を行い、基礎学力の充実を図る。
NETの活用などでコミュニケーション能力を高め、自己表現能力の向上を図る
- 第2学年:音読や暗唱等を行い、基礎学力の充実を図る。
自己表現の時間を充実させる。
NETと積極的にコミュニケーションを図ることにより英語力の向上をめざす。
- 第3学年:音読や暗唱、確認テスト等を行い、基礎学力を定着させ、発展的な課題にも積極的に取り組ませる。
NETと積極的に関わり、コミュニケーション能力を高め、自己表現力の向上を図る。
読む・書く・聞く・話すの4技能をバランスよく習得させる。

年間カリキュラム(学年別・月別)

	第1学年		第2学年		第3学年	
1学期	Starter1	1	Starter	1	starter	2
	Starter2	1	Lesson 1	12	Lesson 1	12
	Starter3	2	Read Aloud	1	Take Action! Listen 1	1
	Lesson 1	12	Take Action! Listen 1	1	Take Action! Talk 1	1
	GET Plus 1	1	Take Action! Talk 1	1	文法のまとめ1	1
	文法まとめ1	1	Get Plus 1	1	Lesson 2	12
	Lesson 2	8	文法まとめ1	1	Take Action Listen 2	1
	GET Plus 2	1	Lesson 2	12	Take Action! Talk 2	1
	文法まとめ2	1	Project 1	3	文法のまとめ2	1
	Lesson 3	12	Take Action! Listen 2	1	Reading for Information	1
			Take Action! Talk 2	1	Project 1	4
			Get Plus 2	1	Lesson 3	2
			文法のまとめ2	1		
			Reading for Informatic	1		
2学期			Lesson 3	10	Lesson 3	10
	Take Action! Listen 1	1	Lesson 3	10	Lesson 3	10
	Take Action! Talk 1	1	Get Plus 3	2	Take Action! Listen 3	1
	文法まとめ3	1	文法のまとめ3	1	Take Action! Talk 3	1
	Reading for Information	1	Lesson 4	12	Get Plus 1	1
	Project 1	3	Take Action! Listen 3	1	文法のまとめ3	1
	Lesson 4	12	Take Action! Talk 3	2	Lesson 4	12
	Take Action! Listen 2	1	Get Plus 4	1	Take Action! Listen 4	1
	Take Action! Talk 2	1	文法のまとめ4	1	Take Action! Talk 4	1
	GET Plus 3	1	Reading for Informatic	2	Reading for Fun 1	4
	文法まとめ4	1	Reading for Fun 1	3	Reading for Information	2
	Lesson 5	12	Lesson 5	12	Lesson 5	12
	Take Action! Listen 3	1	Take Action! Listen 4	1	Take Action! Listen 5	1
	Take Action! Talk 3	1	Take Action! Talk 4	1	Take Action! Talk 5	1
	GET Plus 4	1	Get Plus 5	1	文法のまとめ4	1
	文法まとめ5	1	文法のまとめ5	1	Reading for Information	2
	Lesson 6	12	Reading for Informatic	1	Project 2	5
	Take Action! Listen 4	1	Project 2	3	Lesson 6	12
Take Action! Talk 4	1			Take Action! Listen 6	1	
文法まとめ6	1			Take Action! Talk 6	1	
Reading for Information	1			GET Plus 2	1	
				文法のまとめ5	1	
3学期			Lesson 7	10	Lesson 7	10
	Project 2	3	Lesson 6	12	Lesson 7	10
	Lesson 7	12	Take Action! Listen 5	1	文法のまとめ6	1
	Take Action! Listen 5	1	Take Action! Talk 5	2	Project 3	5
	Take Action! Talk 5	6	Get Plus 6	2	Reading for Fun 2	6
	GET Plus 5	1	文法のまとめ6	1	Reading for Fun 3	6
	文法まとめ7	1	Reading for Informatic	3		
	Lesson 8	12	Lesson 7	12		
	Take Action! Listen 6	1	Take Action! Listen 6	1		
	Take Action! Talk 6	1	Take Action! Talk 6	2		
	GET Plus 6	1	Project 3	4		
文法まとめ8	1	Reading for Fun 2	3			
Project 3	3	Songs	2			
Reading for Fun	2					
合計時数	140		140		140	

枚方市立津田中学校 CAN-DO リスト

学年	中1	中2	中3
外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	聞くこと ・ゆっくりはつきりと話されれば、友達の自己紹介など身の回りのことについて聞き取ることができる。 【教室】・日常会話の英語について、簡単な内容の応答ができる。 ・classroom Englishを聞いて適切に応じ、行動することができる。	・短く簡単な説明やアナウンスを聞いて、自分が必要な情報を聞き取ることができる。 ・身近な事柄についての簡単なニュースを聞いて、その大きな内容を聞き取ることができる。 ・日常的な話題の説明や会話をきいて、重要な情報を聞き取ることができる。 【教室】・ゆっくりと短い文章で話せば、teacher talkの内容について理解できる。	・様々な場面で話される英文をゆっくりはつきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 【教室】・ゆっくりと話すteacher talkの内容についてほぼ理解できる。
	読むこと ・日常的内容(日常生活の身近なもの)の絵はがきやホームページなど具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 【音読】・教科書の英文・英会話の文を音読することができる。	・メニュウや看板を読んで、自分が必要な情報を取り取ることができる。 ・コラムやウェブサイトの記事を読んで、その大まかな内容を読み取ることができる。 ・時間順に書かれた短い物語を読んで、そのあらすじをつかむことができる。 【音読】・教科書の内容を理解し、音読することができる。	・物言や伝記、記事、説明文などを読み、通直辞書を用いながら、ほぼ正確に読み取ることができる。 【音読】・教科書の内容を理解し、正確に音読することができる。
	話すこと [production] ・自分のことや友達のことなど、身近で簡単なことについて、英語で話すことができる。	・自分の町について、簡単な紹介ができる。 ・「将来の夢」や「自分の好きなこと・もの」などについて、あらかじめ考えや気持ちを整理した上で発表することができる。 ・読んだ英文の内容について、考えたことやその理由を話すことができる。	・文化紹介や中学校生活の思い出、これからの決意について、スピーチをすることができる。 【授業でのやりとり】・日常的なあいさつができて、身近な話題についてやり取りすることができる。
外国語表現の能力 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えたい。	話すこと [Interaction] ・身近な話題について、相づちやコメントを入れることができる。 ・簡単な質問に対して、英語で応答ができる。	・自分の予定や思い出について即興で伝え合うことができる。 ・身近な話題についてあらかじめ自分の考えを整理した上で、メモを見ながら簡単な話し合いをすることができる。 【授業でのやりとり】・日常的なあいさつができて、身近な話題についてやり取りすることができる。	・色々な話題において、聞き手を意識した確かな内容を伝えることができる。 ・身近な話題について、受け答えをしながら会話が継続できる。
	書くこと ・語句や英文を正しく書き写したり、自己紹介や友達紹介など身近で簡単な内容を最低3文程度の英文で書くことができる。 【英作文】・友達などに絵はがきやクリスマスカードやバースデーカードなどを最低3文程度の英文で書くことができる。	・「将来の夢」や「行きたい国」、「日本らしいおみやげ」などについて、事実や自分の考えを整理して、正しく伝えるように書くことができる。 ・読んだ英文の内容をふまえて、考えたことやその理由を書くことができる。 【英作文】・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、接続詞を用いて、日記や説明文などまとまりのある文章を書くことができる。	・身近な話題に関して、聞いたり読んだりしたことについて、適切な英語の文章で書くことができる。 【英作文】・身近な話題に関して聞いたり読んだりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を使って書くことができる。
	CEFRとの関連 CEFR-Jとの関連 英検との関連	A1 A1.1~A1.3 5級	A1~A2 A1.3~A2.1 4級

10. 情報教育年間指導計画

学年別年間指導計画【中学1年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて適しているものを吟味することができる。 (I-2) 相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間60文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2) 統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4) 改善点を分析し考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 論理的な手続きやデータを様々な工夫でできることを体験的に理解する。 (III-2) 情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3) 情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	タブレットドリルで週末宿題(Ⅰ)					【古文】 図や表を作り、 問題を自分で 作る(Ⅰ・ Ⅱ)	【文法】 問題を解く 問題を自分で 作る(Ⅰ・ Ⅱ)	【物語文】 図や表を作り、 問題を自分で 作る(Ⅰ・ Ⅱ)	【物語文】 自他の意見の 比較(Ⅰ・Ⅱ)			
社会	【通年】タブレットドリルによる問題演習(Ⅰ) ミライシードでの意見交流(Ⅰ) webを使った調べ学習(Ⅱ)											
	【地理】 ○世界と日本の姿 Google Earthで情報収集 (Ⅰ・Ⅱ)	【地理】 ○地形図を読み取る Google Earthやマップで 情報収集(Ⅰ・Ⅱ)	【地理】 ○世界の諸地域まとめ 国調べをGoogleスライドの 作成、発表(Ⅰ・Ⅱ)					【歴史】 ○歴史へのとびら 身近なものの歴史をGoogleスラ イドの作成、発表(Ⅰ・Ⅱ)				
数学	タブレットドリルで週末宿題(Ⅰ)					比例・反比例 のレポートを オクリンクで 提出		チャレンジテ ストの問題用 紙閲覧	空間図形の位 置関係につい てレポートを オクリンクで 提出	資料の整理で スライド作成 (Keynote)		
	Classroomでプリントの解答配布											
	ドリルパークで既習事項の確認											
理科	タブレットドリル・ミライシードの利用・欠席者やリモート参加者へのプリントや解答の配布と提出・実験レポートの提出											
	タブレットの 使い方指導 (入力・提出 について)	【生命】 ・観察物の写真記録 ・google3Dを利用した 生物観察	【化学・物理】 NHK for schoolの実験映像などの家庭学習補助 Quizletを使用した理科用語の定着					【地学】 googleアースでの火山・地層・自然現象の観察 動画による自然現象の観察 観察物の写真記録				
音楽	○アルトリコーダー授業 練習や演奏動画を視覚と聴覚でリ コーダーの演奏技術を学ぶ。					○鑑賞授業 タブレットドリル・ミライシード 活用。鑑賞曲の共有。			○箏の疑似演奏体験 弦を弾く順番を理解 する。			
保健体育	各種目で、自分の運動を動画撮影してもらい、課題解決や技能向上に活かす(Ⅱ・Ⅳ)											
	生徒同士で実技テストの動画を撮影し提出(Ⅱ・Ⅳ)											
	Classroomでプリントの解答配布											
美術		○自分の名前(平面) モチーフの詳細調べ 情報収集(Ⅰ・Ⅱ)					○絵文字制作(平面) 絵文字のモチーフ詳細 調べ			○学校のもの (立体)モ チーフ詳細調 べ情報収集 (Ⅰ・Ⅱ)		
技術	Classroomにて課題提出(Ⅰ・Ⅱ)											
家庭	〈衣生活〉衣服の購 入時における視点を ミライシードで作 成・交流(Ⅰ・Ⅱ)					〈食生活〉料 理レポートを ミライシード のオクリンク で作成・提出 (Ⅰ・Ⅱ)			〈住生活〉大 掃除レポート をミライシ ードのオクリ ンクで作成・提 出(Ⅰ・Ⅱ)			
英語	タブレットドリルによる週末宿題(Ⅰ)											
	Kahoot!でNET の自己紹介に 関するクイズ 大会	【Project】 理想のロボットを発表しよう オクリンクでスライドを 作成して発表	Kahoot!で Halloweenに 関するクイズ 大会	【USE Write】 学校生活や行事を 紹介するメールを 書こう Pagesを使ってレ ポート作成	Quizletで単語学習	【USE Speak】 偉人を紹介しよう インターネットで 情報を収集	【USE Write】 マニフェストを書 こう 自分の考えを録画 しClassroomで提出					
総合的な 学習の時間	パスワード変更・ アカウント確認	津田中タイピング選手権(Ⅰ)					自転車安全教室(Ⅰ)		〈進路学習〉 職業調べ(Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ) Googleスライドによる発表			
	<校外学習> 近江八幡町調べ・ルート 検索(Ⅰ)											
	各種アンケート											
情報モラル	【総合】職業調べ 情報を引用するときの注意 (Ⅳ)											

学年別年間指導計画【中学2年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて適しているものを吟味することができる。 (I-2) 相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間70文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2) 統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4) 改善点を分析し考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 論理的な手続きやデータを様々な工夫でできることを体験的に理解する。 (III-2) 情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考えて適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3) 情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	【通年】①タブレットドリルでの週末宿題(I) ②インターネットを使用した調べ学習(II・III・IV)										○ニュースを検索して、要約し、ペアで発表しよう。(I・IV)	
社会	タブレットドリル・ドリルパークによる問題演習(I) ミライシードでの意見交流(I) webを使った調べ学習(II) Pagesによるレポート作成(I)											
	○日本地理 mentimeter 各地方ごとに生徒が知っている情報を共有する					○日本地理 まどめ webによる調べ学習とgoogleスライドによる共同編集と発表						
数学	タブレットドリルで週末宿題(I) Classroomで演習問題の提出(I) ドリルパークで課題配信(I)											
理科	【通年】答え合わせ、再配布された授業プリントでの自主学習、復習用動画データのURL(NHK for school)、画像を使った実験補助や現象の確認											
	【化学】 実験結果の撮影し、細かく観察し考察を行った				【生命】 顕微鏡で観察したものの撮影。 実験結果の撮影記録 実験記録の共有			【エネルギー】 直接目で見ることでできない現象のイメージ動画を見た 実験のポイントをスライドを確認				
	【地球】 気象庁のWEBサイトから気象要素のデータを収集し、変化を表にまとめ、グラフを書かせた。											
音楽	○オーケストラの楽器について調べる。 各自で調べ、googleスライドで制作・発表											
保健体育	各種目で、自分の運動を動画撮影してもらい、課題解決や技能向上に活かす(II・IV) 生徒同士で実技テストの動画を撮影し提出(II・IV)											
	ダンスをタブレットで動画を見ながらグループで活動(I・II)											
美術	○堆朱デザイン(工芸)イメージ情報収集(I・II)					○リングのポスター(平面)イメージ情報収集(I・II)						
技術	情報モラルIV) Classroomにて課題提出(I・II)											
	iPad アプリを活用(I・II)					プレゼン作成・発表・相互評価(I・II)						
家庭	〈食生活〉 料理レポートをpagesで作成・提出(I・II)											
	〈食生活〉 kahoot!で野菜に関するクイズ大会					〈食生活〉 お雑煮レポートをGoogleスライドで作成・発表(I・II)						
英語	タブレットドリルによる週末宿題(I)					【Project12】 旅行のプランを提案しよう!インターネットから情報を収集			【Project12】 旅行のプランを提案しよう!Googleスライドを使って発表		Quizletで単語学習	
総合的な学習の時間	SDGs(スライド)(I・II)											
	近江八幡について(スライド)(I・II)					キャリアチャレンジデー(Meet)企業調べ(スライド)(I・II・III)			高校調べ(スライド)(I・II)			
	各種アンケート・タイピング選手権(I)											
情報モラル	【総合】企業調べ情報を引用するときの注意(IV)											

学年別年間指導計画【中学3年】

○ 基礎的知識・技能	(I-1) 情報を複数集めて適しているものを吟味することができる。 (I-2) 相手や目的に応じて、グラフや図表を用いて効果的に発信することができる。 (I-3) キーボード文字入力(1分間80文字程度)
○ 思考力・判断力・表現力	(II-1) 問題を発見し、その解決のために、目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集することができる。 (II-2) 統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えることができる。 (II-3) 問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造することができる。 (II-4) 改善点を分析し考えることができる。
○ プログラミング的思考	(III-1) 論理的な手続きやデータを様々な工夫できることを体験的に理解する。 (III-2) 情報技術の価値を社会や将来に関連付けて考えることができる。
○ 情報モラル	(IV-1) 情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他人への影響を考慮して適切に使用することができる。 (IV-2) 生活の中での必要となる情報セキュリティを理解することができる。 (IV-3) 情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語								○フロン規制の物語 「科学と社会」という テーマの作文で情報収集 (I・II)		○情報社会を生きる メディアリテラシーにつ いて考える (IV)		
社会	【通年】 タブレットドリル・ドリルパークによる問題演習 (I) ミライシードで意見交流 (I) webを使った調べ学習 (II) テストや年度末の受験対策⇒Pagesで予想問題作成と共有 (I)										○経済 googleスライドで共同制作・発表 (II)	
数学	ドリルパークで課題配信 (I) Classroomで課題の提出 (I) タブレットドリルで週末宿題 (I)					【関数 $y=ax^2$ 】 Geogebraでグラ フの観察 (III)	【図形と相似】 ムーブノートで 証明練習 (I)	【円の性質】 Geogebraで円周 角の導入 (III)			【標本調査】 スプレッド シートで乱数 抽出 (II)	
理科	【通年】NHK for school の実験映像などを授業の補助教材として使用。											
		【生命】 デジタル教科書を使用し、 写真や映像の使用	【物質】 デジタル教科書を使用し、 写真や映像の使用	【地球】 デジタル教科書を使用し、 写真や映像の使用				【エネルギー】 デジタル教科書を使用し、 写真や映像の使用		【環境】 デジタル教科書を使用し、 写真や映像の使用		
音楽			○童謡調べ 童謡について、各自で調べ、google スライドで制作・発表 (I・II)				○作曲家調べ 童謡について、各自で調べ、google スライドで制作・発表 (I・II)					
保健体育	各種目で、自分の運動を動画撮影してもらい、課題解決や技能向上に活かす (II・IV) 生徒同士で実技テストの動画を撮影し提出 (II・IV)											
											グンスをタブレットで 動画を見ながらグルー プで活動 (I・II)	
美術		○ドリンクバック (平面立体) モチーフの詳細調べ 情報収集 (I・II)					○遠近感のある風景 (平面) 風景写真調べ 情報収集 (I・II)				○篆刻 () 印面 の書体調べ 情報収集 (I・II)	
技術	マイクロビットによるプログラミング (I・II・III)											
	Classroomにて課題提出 (I・II)											
												プレゼン作成・発表・相互評価
家庭			〈消費生活〉詐欺 などの消費者トラ ブルに関して調べ、 スライド発表 (I・II)					〈家族生活〉デジタル紙芝居製作・提出 Googleスライド・keynote使用 (I・II)				
英語	タブレットドリルで週末宿題 (I)							[Project2] おすすめの都道府県 をPRしよう！イン ターネットから情報 を収集	[Project2] おすすめの都道府県 をPRしよう！Google スライドを使って共 同編集＆発表		[L7-UseSpeak] 20歳の自分に向けてメッ セージを送ろう！ボイス メモに録音し、クラス ルームの課題に提出	
総合的な 学習の時間		【進路講話】 ・高校のHPを調べてインタ ビュー内容を考える ・講話の内容をスライドにま とめて発表する	津田中タイピング選手権 (I)									
												各種アンケート
情報モラル	【総合】進路講話 情報を引用するときの注意 (IV)											